

発見!白石のひみつ

活動のねらい

- 琵琶湖の中から白石や周囲の様子を見ることにより、白石や琵琶湖がどのようにしてできたのかを知ると共に、自然の力の大きさをを感じる。

【時期】 通年

【場所】 白石, 近江舞子, 琵琶湖一円

【時間】 30分~40分, 各展望時

【準備物】 ●白石の写真パネル

主な活動の流れ

事前学習

- 「琵琶湖に白石という島があることを知る」
 - ・白石の写真パネルを使い、岩でできた小さな島が琵琶湖にあることを知らせる。
- 「琵琶湖にある島について調べる」
 - ・琵琶湖にある島の名前、位置、特徴などについて調べる。
 - ・白石は琵琶湖の深い所にある、小さな島であることを知る。

白石の秘密をさぐろう!

フロートイングスクール

- ①「うみのこ」から白石を見て、岩の色や形などの特徴をスケッチする。
- ②湖の中の白石の様子を想像する。
- ③琵琶湖の島（白石や多景島等）のできた訳や特徴について話を聞く。
 - ・専門講師による話（※1）または、教師による話（※2）
- ④「うみのこ」から展望して、わかったこと、思ったことを記入する。

事後学習

- 「琵琶湖や島々がいつごろどのようにしてできたのかを調べる」
 - ・白石は約1億年前の火山活動によってできた。その頃できたものとして、沖島、多景島などがある。また、約400万年前から、砂や泥が水中で積もったり（堆積）、断層の活動で沈み込んだりして（沈降）、伊賀方面にあった湖が徐々に現在の場所まで移動し、今の琵琶湖ができた。（※2）
- 友だちと意見を交流することで、自分たちの住んでいる所がどのようにしてできたのか等を調べる。

参考資料

（※1）「トレックステーション舞子ハット」
問い合わせ先：TEL 077-596-8190
（ヨシ原の水生物観察も可）

（※2）「指導計画」（CD-ROM参照）

